

24期中に特に注意して進めること

・社会との距離をつめる

シチズンサイエンス：GYAでも話題。地方展開してサイエンスカフェとも連動。

科学と社会委員会との協働（新・日本の展望、の作成に積極的に関わる）

・組織の持続性確保

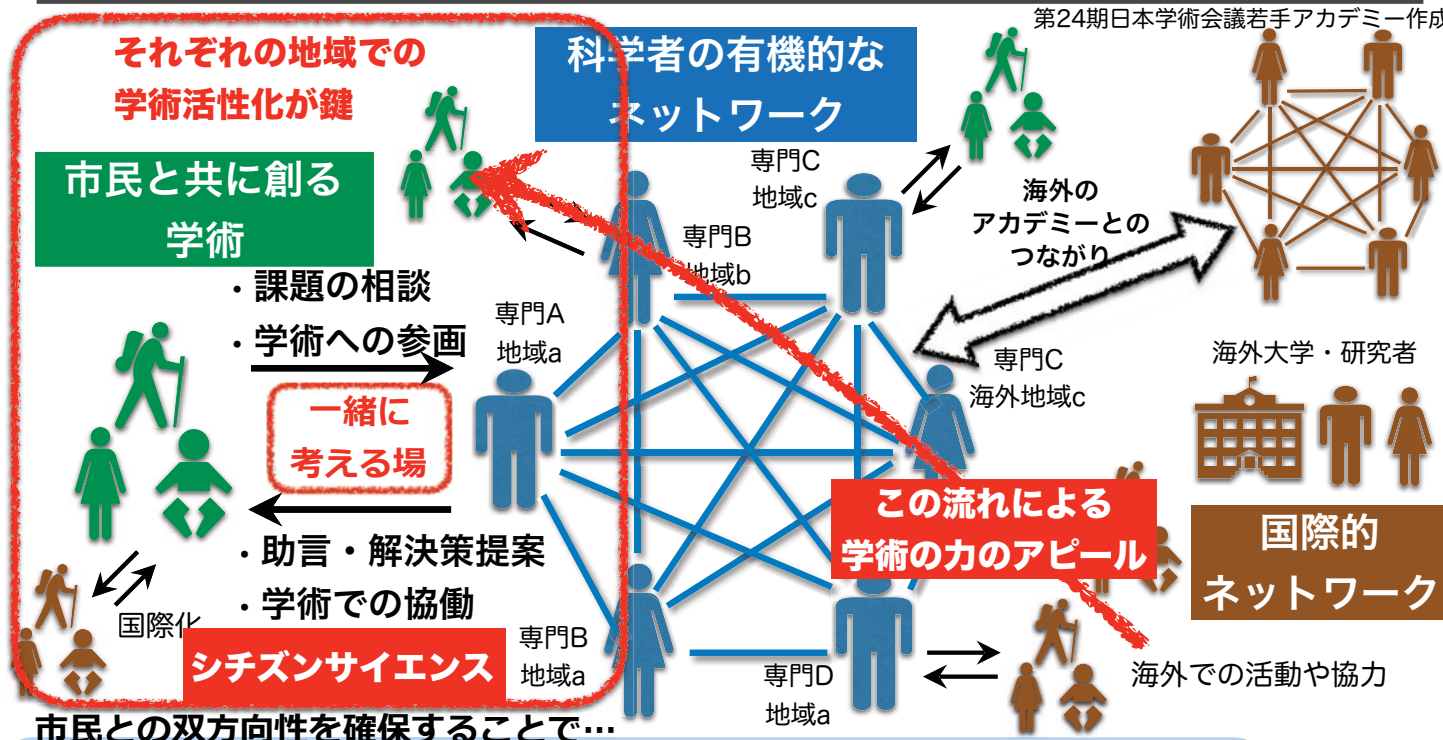
- HPの充実：組織紹介、メンバー紹介、活動の速報性も出す。英語化も。
- 若手科学者ネットワークなども活用した活動の周知。
- 広報資料（パンフレット）の作成：関係する人への理解促進、新メンバーリクルート、fundraisingのため。
- メンバー間の情報共有と引き継ぎ：仕組みづくりの工夫。

・地方活性化につながる活動（随時企画中）

市民から頼られ、市民を頼れる科学者集団を目指して ～若手が考える学術の持続性と社会の持続性の両立～



第24期日本学術会議若手アカデミー作成



- 社会課題に対して学術の多様性をもって取り組み可能。地域の国際化もサポート可能。
- 学者にない視点が導入可能。既存の学術の枠を超えた、新たな学術が創造可能。
- 人口減少・超高齢社会を克服する人材活用・人材発掘が可能。
- 若手の参加による柔軟な思考と行動の自由度、高い機動力に基づく、素早い取り組み。
- 若手からのボトムアップ活動を促進することで、研究者の公共心の醸成も促進。

社会、及び、
学術の持続性
向上に貢献

他委員会などとの協働

科学者委員会、及び、分科会

それぞれに若手アカデミー枠を1名いただき、積極的に議論に参加。

委員会/分科会名称	内容、成果など
科学者委員会	「研究評価」に関連して、今後の議論に参画予定。
男女共同参画分科会	若手アカデミー内で意見を取りまとめて議論。ハラスメントのシンポジウムでセッションを担当。医療界における男女共同参画の推進と課題」に関するシンポジウムに若手医療関係者を紹介。
研究計画・研究資金検討分科会	主に若手や人材育成に関する内容について、次期マスタープランの議論に参画。
学術体制分科会	担当委員間で連携して、若手アカデミー内での議論を活性化。
学術と教育分科会	
学協会連携分科会	若手でアンケートを作成。情報を共有して議論中。

科学と社会委員会

- 7月6日の科学と社会委員会にて、SDGs関連の取り組みの意見交換
- 科学と社会委員会 企画分科会に若手アカデミーメンバーが参加。
「日本の展望」のアップデートなどに参画予定。

課題別委員会

- 「人口縮小社会における問題解決のための検討委員会」に若手アカデミーからも委員を出し、積極的に議論に参加。

地方学術会議

- 12月22日の地方学術会議in京都の企画・運営に協力。

17

詳細な活動報告 (2017年12月～2018年9月)

若手アカデミー全体/運営分科会

実施日	名称	内容、成果など
2017.12/28	第1回全体会議	顔合わせ、各分科会の発足、役員の決定。
2018.3/29	第2回全体会議	今後の活動方針の議論。各分科会等の情報交換。
4/27	第1回運営分科会	今後の活動方針確認、渡辺副会長からの依頼等に関する議論。
6/18	第2回運営分科会	今後の活動方針確認。
8/31	第3回全体会議	各分科会の活動報告、今後の活動方針の確認。文科省科政局の中澤恵太氏と意見交換。 終了後、有志による研究会も実施。
その他	オリジナルロゴを作成	第24期若手アカデミー 埴淵知哉会員によるデザイン。成長や勢いといった若手のイメージとさまざまな学問や人が集まる様子とを、草花をモチーフに表現。
	文科省との意見交換	3/12、7/17に文科省に招かれ意見交換。（主に、人材育成や科学技術白書などに関する内容）
	『学術の動向』への寄稿、特集企画の持ち込み	8月号に複数名のメンバーが寄稿。10月号特集2を企画（国際分科会主導）、11月号特集1を企画（イノベーションに向けた社会連携分科会主導。）

19

各分科会の活動（1）

若手による学術の未来検討分科会

実施日	名称	内容、成果など
2018.3/29	第1回分科会	顔合わせ、役員選出、議論したい課題の共有、活動方針の議論。
8/31	第2回分科会	今後の活動の議論（博士キャリアシンポジウムの運営、学協会活動負担関連など）
その他	科学者委員会関連の活動をサポート。男女共同参画分科会での資料とりまとめ、学協会連携分科会でのアンケート作成など。	

(今後予定されている活動)

予定日	名称	予定される内容
10/27	公開シンポジウム「博士号所持者に求められること・求めること」	博士のキャリアパスについて、アカデミア、アカデミア外で活躍する方、行政官、就職活動支援企業の方などを交えて議論する。イノベーションに向けた社会連携分科会共同主催。

10

20

各分科会の活動（2）

若手科学者ネットワーク分科会

実施日	名称	内容、成果など
2018.3/29	第1回分科会	顔合わせ、役員選出、今後の活動の議論。
6/4	第3回若手科学者サミット	種々の分野で活躍する若手科学者に登壇してもらい、多岐にわたる分野からなる聴衆から最も評判の良かった講演を表彰。同時に、ポスター発表を交えた研究交流を実施。文科省、財務省の方などをお招きしてのパネルディスカッションを実施。
6/29	若科学者ネットワーク アニュアルレポート2017 の発行	記録としてHPにもアップロード。

21

各分科会の活動（3）

22

イノベーションに向けた社会連携分科会

実施日	名称	内容、成果など
2018.5/28	第1回分科会	顔合わせ、役員選出、活動方針の議論（シンポジウムの企画、WGの設置）。
7/28	第2回分科会	今後の活動の議論（WGの活動状況確認、シンポジウムの運営など）
7/28	公開シンポジウム「若手アカデミーが考えるシチズンサイエンスに基づいた学術横断的社会連携」	NISTEP林様ほか若手科学者からの取り組みの紹介があり、シチズンサイエンスの進め方と可能性を議論。

（今後予定されている活動）

予定日	名称	予定される内容
12/1	公開シンポジウム「地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化ーシチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組みー（青森県）」	シチズンサイエンスの企画を地方活性化の文脈で展開。

各分科会の活動（4）

23

国際分科会（1/2）

実施日	名称	内容、成果など
2018. 2/10-11	アジア若手アカデミー会議 @イスラエル	アジア諸国の若手アカデミーとの連携強化。 (岸村代表、狩野前副代表が参加)
3/28	国際WS「日韓交流から科学 の社会的・国際的貢献を考 える」	韓国若手アカデミー代表を招聘し、講演を交え た討論、及び、グループワークを実施。
3/29	第1回分科会	顔合わせ、役員選出、今後の活動方針の議論 (サブグループの設置)。
5/6-10	第8回GYA年次総会	新福副代表が執行役員に就任。
5/8-9	SDGsに関連したSTIロード マップ会合	メンバー派遣 (非公式)。
5/16-18	ファシリテータ養成講座	タイが主催の能力開発講座。メンバー派遣 (非 公式)。
7/17	第2回分科会	各種報告、サブグループの状況報告、ファシリテ ーターの実演。

各分科会の活動（5）

24

国際分科会（2/2）

実施日	名称	内容、成果など
8/13-14	IAP/AASSAワークショップ (クアラルンプール)	SDGsに関する地域WS。狩野メンバーを派 遣。
8/31	第3回分科会	各サブグループの状況報告、今後の活動につい て、ワークショップや会議の運営について。
その他	海外におけるデータ取得問題についてCITES機関登録に関して経産省でヒアリン グを実施、大学国際化関連で文科省でヒアリングを実施。	

(今後予定されている活動)

予定日	名称	予定される内容
11/5	若手研究者のための科学的助言 能力構築ワークショップ (INGSAプレイベント)	若手アカデミー主催で日学で開催予定。INGSAに参加する GYAメンバーや各国の研究者と若手アカデミーのメンバー、 行政官などが協働して能力開発に臨む。旅費支援のためのフ ァンドレイジングにも取り組んでいる。
12/6	アジア学術会議	科学と社会委員会のセッションに、若手アカデミーが協力。
2019.7 /29-8/2	各国若手アカデミー世界大会2019 (WWMYA2019; ベトナム)	運営に協力。

The logo of the Young Academy of Japan is a circular emblem. It features a stylized flower with five petals in shades of blue, orange, and yellow, with green leaves at the base. The text "YOUNG ACADEMY OF JAPAN" is written in a circular path around the top, and "日本学術会議 若手アカデミー" is written around the bottom.

ご清聴ありがとうございました。